



いつの間にか、季節はすっかり秋模様となりました。近年は異常気象が常とはいえ、今年は特に干ばつや水害がひどいように感じます。管内においても大豆の初期生育時期に降雨がなく、普段は行わない大豆圃場への入水を行うほどで、実施後の圃場は雑草が一気に増えました。SGS の収穫は雨で出ばなをくじかれましたが、水張の開始期限に向け皆様からのご協力を賜り、一丸となって完遂に努める所存です。

ネットワーク大津(株) 7、8、9 月の主な行事

7/1	辞令交付式	9/1	第 14 回定時株主総会
7/27	水稻一斉防除(1 回目)開始	9/15	大豆(きらゆたか)圃場現地検討会
8/31	水稻一斉防除(2 回目)開始	9/24	飼料用米(SGS)刈取り開始

定例取締役会：主な内容について

7/6 : 農作業スケジュールについて

7 月 1 日から大豆播種を予定していましたが天候が悪く作業が行えませんでした。その為、播種作業は 9 日頃から開始し遅くても 17 日までに終了させる計画を報告しました。

8/18 : 固定資産 (TMR ヴァーチカルミキサー オーガ交換) の修理について

ヴァーチカルミキサーは「みらい基金」で導入した機械でこの部分は初めての修理となります。この部分で藁を直接切っていたので摩耗が激しく、時間を要していました。これからは藁を裁断してミキサーに混ぜ込む工程に変えていくことで部品の物理的寿命も長くなる見込みです。現状に適した工程で作業を行えるよう事業等の活用も進めていきます

【固定資産導入】

TMR センターヴァーチカルミキサー用オーガ交換 2 基分 18,732,312 円 (税込)

9/7 : 農作業賃金規定の改定について

近年の夏場の高温については、猛暑日・酷暑日など想像を超える気温が続いており、熱中症対策など作業員の継続した雇用を確保する為、改定の協議を行い可決されました。

※本社管理地作業 (草刈り・草取り等) は、夏季手当として 1 日 ¥1,000 を支給する。

但し、夏季手当期間 (7 月～9 月) ・作業時間が 4 時間以上を対象とする。

第14回定時株主総会

9月1日に第14回定時株主総会が開催されました。保有株式に応じた株数での賛・否にて、第1号議案から第3号議案まで原案通り可決されました。今回、第3号議案の取締役の補欠選任(案)にて、令和8年8月末に内牧集落において取締役の欠員が生じた為、新たに古庄 眞二さんが選任されました。内牧集落の役員であった中野 一郎さんは集落取締役ではなく、JA 菊池からの取締役として続投して頂いております。



役員紹介



内牧取締役
古庄 眞二



TMR事業報告

前号で触れた値上げによる影響が7月の出荷量に表れました。値上げ前の6月に発生した駆け込み需要によるものです。8月は新規で2件供給を開始し、今年度の目標を達成する為に新規開拓を中心に出荷量を増やす方針です。

SGSの製造工程においてコンパクトのラッピング箇所から漏れ出る飼料の対処法として、掃除機を導入し労力削減を試みております。今回は導入予定の物が間に合わず、効力の検証は不十分ですが、今後は破砕機やミキサの更新も行い、SGS作業の効率化も図り収穫期間の短縮が行えるよう努めて参ります。

6月末時点での在庫数	
繁殖	219,364Kg
肥育	698,097Kg
搾乳	38,482Kg

	TMR(繁殖)		TMR(肥育)	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
7月	41,793 kg	34,621 kg	265,454 kg	257,056 kg
8月	61,470 kg	51,869 kg	194,826 kg	268,668 kg
9月	17,701 kg	38,432 kg	225,412 kg	114,936 kg
合計	120,964 kg	124,922 kg	685,692 kg	640,660 kg

	TMR(搾乳)		3ヵ月分合計	
	生産量	出荷量	生産量	出荷量
7月	0 kg	18,248 kg	307,247 kg	309,925 kg
8月	22,936 kg	11,646 kg	279,232 kg	332,183 kg
9月	0 kg	7,616 kg	243,113 kg	160,984 kg
合計	22,936 kg	37,510 kg	829,592 kg	803,092 kg



大豆の適切な播種について

はじめに

今年は大豆の播種時期に降雨がなく、高温乾燥の期間が長く続く状況でした。一部圃場では発芽不良が見られ、再播種した圃場においてはまともな収穫が行えないと判断された圃場もありました。今回は耕作者の皆様はご存じの通りかと思いますが、情報の整理も兼ねて発芽不良に陥る原因(推測)と対応策の提示を行います。

発芽不良の要因となり得る事項 及び 対処案

①播種前の耕起が浅いから？ → 深耕は基本 15cm が良い

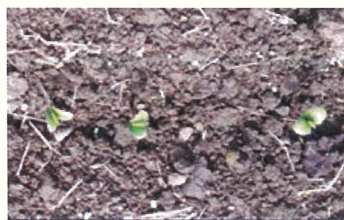
後述の播種深度にも少なからず関係してきます。耕起が浅いと播種するトラクター(26馬力等の小型)によっては播種深度が浅くなりすぎてしまい、発芽不良等に繋がります。お手持ちのトラクター能力に合わせ、無理のない範囲である程度深く耕起を行ないましょう。

②碎土率が高すぎても発芽しない？ → 碎土率(2cm以下の土塊の割合)は 70～80%程度を目指す

耕起を丁寧にすると見栄えがとても綺麗ですが、碎土率が90%程度にもなると、降雨により表層が硬くなり発芽を妨げてしまう場合があります。逆に粗すぎても大きな土塊が発芽を妨げます。



碎土率：約 90%
降雨後クラストができやすく、発芽を妨げます。



碎土率：約 70%
目安となる状態です。



碎土率：約 40%
碎土率が悪いとほとんど発芽しません。

ほぼ実寸大
0cm

2cm

3cm

5cm

15cm

③播種深度が浅かったからダメだったのか？ → 播種深度は天候を見て変える

・基本は 3cm

大豆は「胚軸」という茎を、弓なりに曲げ土の重い抵抗を力任せに持ち上げるようにして出芽します。農研機構や海外の大学(マニトバ大学等)の比較試験データによると、5cm以上の深さにまいた場合、土の重みに耐えかねて途中でエネルギー(種子の貯蔵養分)を使い果たし、地上に到達する前に酸欠や胚軸の破断で死滅(出芽率の致命的な低下)することが実証されているようです。ただ、浅くても問題があります。

・晴天(乾燥)が続く場合：5cm

土壌の最表層(0～2cm)は、太陽光や風によって非常に乾燥しやすい領域で 2cm より浅い場所に種をまくと、必要な水分を十分に吸水できず「不完全な発芽」のまま乾燥して死んでしまう(乾燥害)リスクが跳ね上がります。

・降雨(湿潤)が続く場合：2cm

大豆は発芽時に大量の酸素を必要とします。雨が降った際、地中深くになればなるほど、土壌内の酸素濃度は著しく低下し、深播きされた種子は水分過剰による酸欠を起こし、発芽する前に地中で腐ってしまう可能性があります。

麦の播種について



碎土率について：大豆同様の 70%程度が良い

粗すぎると？

・発芽が安定しない ・播種深度がばらつく ・除草剤の効果が薄れる

細かすぎると？

・酸欠 ・湿害のリスクが上がる

→土の隙間がすべて埋まってしまうため、雨が降ったときに水が抜けず、酸欠になってしまいます。特に大麦は小麦に比べ酸欠になりやすい作物のようです。

播種深度について：3cm 程度が良い

大豆のように天候に合わせ変えた方が良いのか？ → 暖冬であっても寒冬であっても、基本 3cm 程度。

・暖冬予測だからといって「深播き」にはしてはいけない理由

→出芽が不揃いになりやすく、湿害に極めて弱くなります。特に「はるか二条」などの大麦は、深播きされた状態で雨が降ると、種子が窒息して腐りやすくなります。

・寒冬予測だからといって「浅播き」にはしてはいけない理由

→浅播きは初期の生育こそ旺盛に見えるものの、根が浅い位置にしか張らないため、後期の生育が急激に衰え、穂が小さくなって収量が落ちる可能性があります。

気候への対策は「深さ」ではなく「播種時期」で調整する ※暖冬の場合(やや遅め) 寒冬の場合(やや早め)

→暖冬では、冬の間も麦の生育スピードが落ちない為、冬を越す前に葉が茂りすぎてしまいます。過繁茂になると、春先の「茎立ち」や「出穂」のタイミングが早まってしまい、その結果、春先に遅霜が降りた際、一番寒さに弱い状態の穂が霜に当たってしまい、実が入らなくなる「凍霜害」の致命的なリスクが高まります。

→冬の寒さが厳しいと、発芽した後の成長が著しく停滞し、本格的な寒さが来る前に「本葉が 3 枚以上」まで育つことができず、ひょろひょろの状態で見えるもの、根が浅い位置にしか張らないため、後期の生育が急激に衰え、穂が小さくなって収量が落ちる可能性があります。

今後の予定

毎月 第 1 月曜日 定例取締役会



10 月 5 日 令和 10 年度(産)作付計画書の配布

10 月 5 日 令和 9 年度農作業受委託契約書配布

10 月 22 日 稲刈り体験

11 月上旬 令和 10 年産 水稻育苗注文書の配布

11 月中旬 作業委託管理費の支払い(麦精算)

12 月上旬 大麦・小麦播種開始

12 月下旬 作業委託管理費の支払い(年末精算)

12 月 29 日 仕事納め



[お問い合わせ先] ネットワーク大津株式会社 熊本県菊池郡大津町陣内 427

TEL 096-285-4080 FAX 096-285-4909

HP <http://www.network-ozu.com>

発行責任者：徳永浩二

広報責任者：右田哲章